



□使い勝手のよいシンプルな実践カードや自由欄つき

技能教科では、実践までの知識理解のための学習と、実践しながら書き込むノートページでは目的が変わってきます。また、学校によっては素材や作品が変わってくることも多くあります。そこで、教育同人社の家庭科ノートでは、学校の実践に合わせられるように自由記入ページも盛り込みました。

▼自由に使えるノートページ



□「ちょっと」とあると嬉しい資料を厳選

また、ご好評いただいている資料コーナーも引き続き掲載しています。教科書から得られる知識のほかに、もうちょっとあると学習や指導に助かるかと思っていただけ資料を厳選して掲載しました。ご使用いただいている先生からも支持の声が多いコーナーです。

▼興味関心を育てる資料



□新しい消費者教育・持続可能な社会の実現の単元も手厚く対応

今回の改訂でも重要な消費者教育や持続可能な社会の実現についても、より実践的な内容を盛り込みました。5年生では消費者教育として、買い物の計画を考えさせる内容を、6年生では環境や健康だけでなく、家庭生活やこれからの社会生活に大切なSDGsの取り組みについて紹介しています。

▼5年生「やってみよう」買い物

「やってみよう!」 どれを買うかな

けんたくんは、お母さんに「スーパーマーケットに行って、キャベツとベーコンを買ってきて。予算は500円で、家族4人分」と買い物をたのまれました。あなたなら何を買いますか。買物の計画を立てて、どれを選んだらよいか、けんたくんにアドバイスしてください。

品名	単価	数量	金額	備考
キャベツ	100円	1個	100円	
ベーコン	150円	1パック	150円	
豚肉	100円	1パック	100円	
卵	100円	1パック	100円	
牛乳	100円	1パック	100円	
トースト	100円	1パック	100円	
サラダ	100円	1パック	100円	
牛乳	100円	1パック	100円	

■どれを買いますか。その理由をお母さんに説明しましょう。

買った食品	買った理由
キャベツ ( ) 円	
ベーコン ( ) 円	
合計 ( ) 円	

▼6年生「SDGsの取り組み」

「やってみよう!」 持続可能な社会を目指す取り組み SDGs

暮らしや地球を守りながら、いろいろな問題を解決して、みんなが幸せな未来をつくる「持続可能な社会の実現」を目指す取り組みが、2016年の国連サミットで決まりました。SDGs（エスディーズ）と呼ばれるこの運動は、2016年から2030年の15年間で世界の「持続可能な開発」のために17の目標を達成すると決められました。国連加盟国193か国が取り込んでいます。

下の表の17項目の内容を見て、小学校から中学校にかけて自分の身の回りややりたいことを実現していきたいことを考えてみよう。

●あなたが取り組んでみたいこと

番号	理由
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	

□指導の手助けに強い味方・手厚い教師用書  
家庭科専科の先生方の監修により、各小単元

での学習目標、記入例や指導のポイント、押さえるべき言葉などをコンパクトに掲載しました。児童一人ひとりの家庭環境が違うなかで家庭科の学習は気に留めるべき内容も少なくありません。要所所でのポイントやアドバイスは、家庭科専科以外の先生の強い味方となっております。

また、同時発行の「家庭科テスト」では、デザインや資料を連動させ、児童にとって使いやすしい配慮をしています。

▼小単元毎に学習目標を提示 (教師用書)

2 できることを増やしてクッキング

【1】「いただきます」と「ごちそうさまでした」をいって、いただきます、ごちそうさまでしたをいっていただきます。

【2】いただきます、ごちそうさまでしたをいっていただきます。

【3】いただきます、ごちそうさまでしたをいっていただきます。

【4】いただきます、ごちそうさまでしたをいっていただきます。

	生	ゆでる	いためる
使った野菜 (ほうれん草)	柔らかくなる。	やわらかくなる。	色が赤や黄色になる。
卵	白身と黄身が分かれている。	固くなる。	黄身が黄色くなる。

【5】いただきます、ごちそうさまでしたをいっていただきます。

【6】いただきます、ごちそうさまでしたをいっていただきます。

3 こんなときだからこそ 家庭科の重要性

2020年2月から新型コロナウイルス感染症予防のための特別な毎日を強いられ、改めて家庭生活の大切さや重要性が求められることとなりました。家族の一員としての知識やスキルを身につける家庭科の学習は、これから自立していく子どもたちにとって大切な教科です。自らが考え、よりよい家庭生活を送れるように意識し、実践できる授業に活きる教材をこれからも目指していきます。